

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	川津南地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県西予市	380008	4	H25～H27	H25～H28
活性化計画の区域				
当該区域の面積1,179haのうち農地面積は92.6ha、就業人口140人のうち約52.9%の74人が農業従事者である。地域の営農形態は水稻を中心とした、野菜栽培の経営が盛んな農業地域である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用 用排水施設等の機能の確保	13.0ha	12.3ha	95%	

(コメント)

事業が予定どおり完成し、農業生産基盤の向上が図られ、目標がほぼ達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
小規模農林地等 保全整備	農道 L=140m 農業用排水路 L=500m 区画整理 A=1.8ha 耐久性畦畔 L=3,265m 湧水処理 L=1530m			西予市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
西予市	平成25年度	平成28年度	平成29年4月1日	
事業の効果				
農道、用排水路、区画整理を実施する事で、農作業の省力化や効率化と共に営農経費の節減や水管理の合理化が進み、農業従事者の安住化を図ることができた。				

3 総合評価

(コメント)

農道、用排水路、区画整理等を実施する事で、農作業の省力化や効率化と共に営農経費の節減や水管理の合理化が進んだ。

その結果、農業経営の安定や断続的な営農が可能となり、認定農業者の増加へと繋がり、農業従事者の安住化を図られたと言える。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業（農道、用排水路、区画整理等）の実施により、農作業の省力化や効率化と共に営農経費の節減や水管理の合理化が進み、農作物の安定供給に繋がった。

認定農業者が増加した事により、農業従事者の安住化も図られた。

このことから、本計画の達成に繋がっていると言える。